

本製品はEIAJコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も合わせてご覧ください。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2001

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

< KNKZF/01D00000 > < CRA3184-A >

作業の進めかた

① はじめに

接続・取り付け部品を確認する ----- 2ページ

② 接続のしかた

接続の前に知ってほしいこと ----- 4ページ

接続端子のなまえと働き ----- 5ページ

電源コードの接続 (本体) ----- 8ページ

電源コードの接続 (TVチューナー) - 10ページ

システムの接続 1 ----- 12ページ

AV MASTERモード

システムの接続 2 ----- 14ページ

MAIN UNITモード

ナビゲーションシステムの接続 --- 16ページ

RCA映像/音声入力・出力の接続 - 17ページ

③ 取り付けかた

取り付けの前に知ってほしいこと - 18ページ

TVアンテナの取り付け ----- 19ページ

本体の取り付け ----- 28ページ

TVチューナーの取り付け ----- 31ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

接続・取り付けが終わったら ----- 33ページ

接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体×1



バインドネジ (4 × 3 mm) × 4

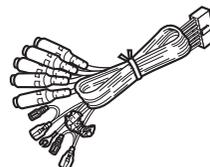


バインドネジ (5 × 6 mm) × 4



皿ネジ (5 × 6 mm) × 4

コード関係



電源コード (本体用) × 1



電源コード (TVチューナー用) × 1



モニター用20ピンRGBケーブル (青・白) (3 m) × 1



20ピンケーブル (黒・黄) (3 m) × 1

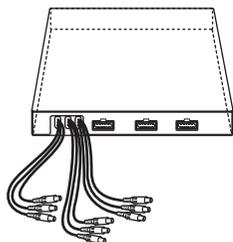


IP-BUSケーブル (3 m) × 1

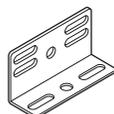


RCA映像コード (黄) (6 m) × 1

TVチューナー関係



TVチューナー×1



取付アングル×2



座付きネジ (4 × 8 mm) × 4



タッピングネジ (4 × 12 mm) × 4



マジックテープ×2

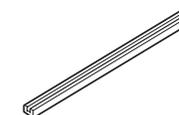
TVアンテナ関係



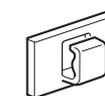
TVアンテナ 右用・左用 各1



塗装保護シート×2



コードレール×4



クランパー×6



ガラス クリーナー剤×1



クロス×1



エレメント固定ホルダー×4



六角レンチ×1

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

若草色リード線 (パーキングブレーキスイッチ) は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないとテレビやDVDなどの映像を見ることができなくなります。

接続のポイント

ノイズ防止のために

ノイズ防止の為、TVアンテナおよびアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

- * ラジオ/FM多重用アンテナおよびアンテナコード
- * RGBケーブル
- * IP-BUSケーブル
- * RCAコード
- * 電源コード
- * 車のコードおよび機器類
- * ナビゲーション本体
- * GPSアンテナ

それぞれのコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

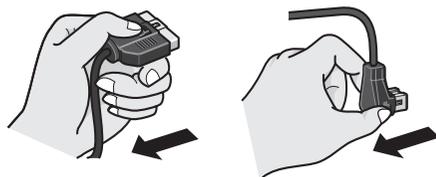
20ピンRGBおよびIP-BUSの接続について

20ピンRGBの端子およびIP-BUSの端子は、同じ色どうしを接続してください。(コネクタの接続部分が色分けされています。) 違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

コネクタの着脱のしかた

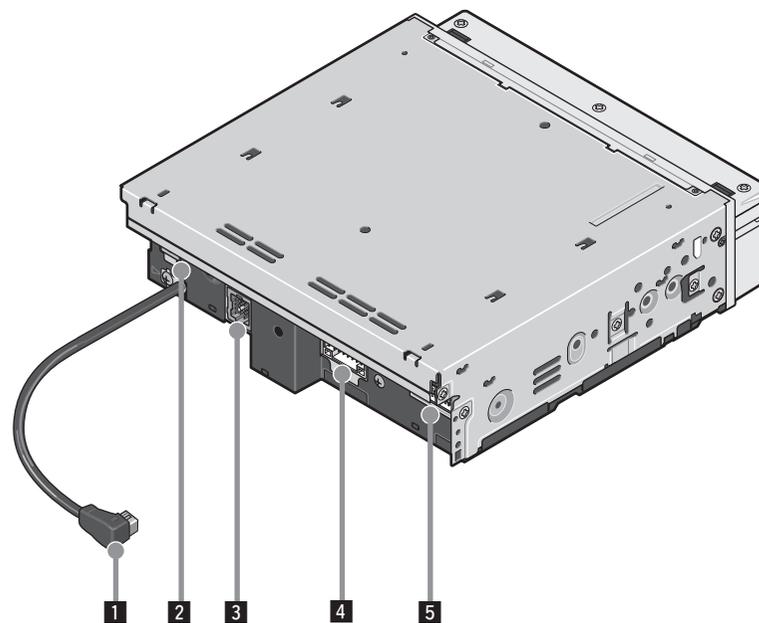
コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続端子のなまえと働き

本体



1 IP-BUS出力 (青)

IP-BUS入力のある製品に接続します。

2 光デジタル出力 (黒)

光デジタル入力のある製品に接続します。

3 IP-BUS入力 (青)

IP-BUS出力のある製品に接続します。

4 電源

付属の電源コード (本体用) を接続します。

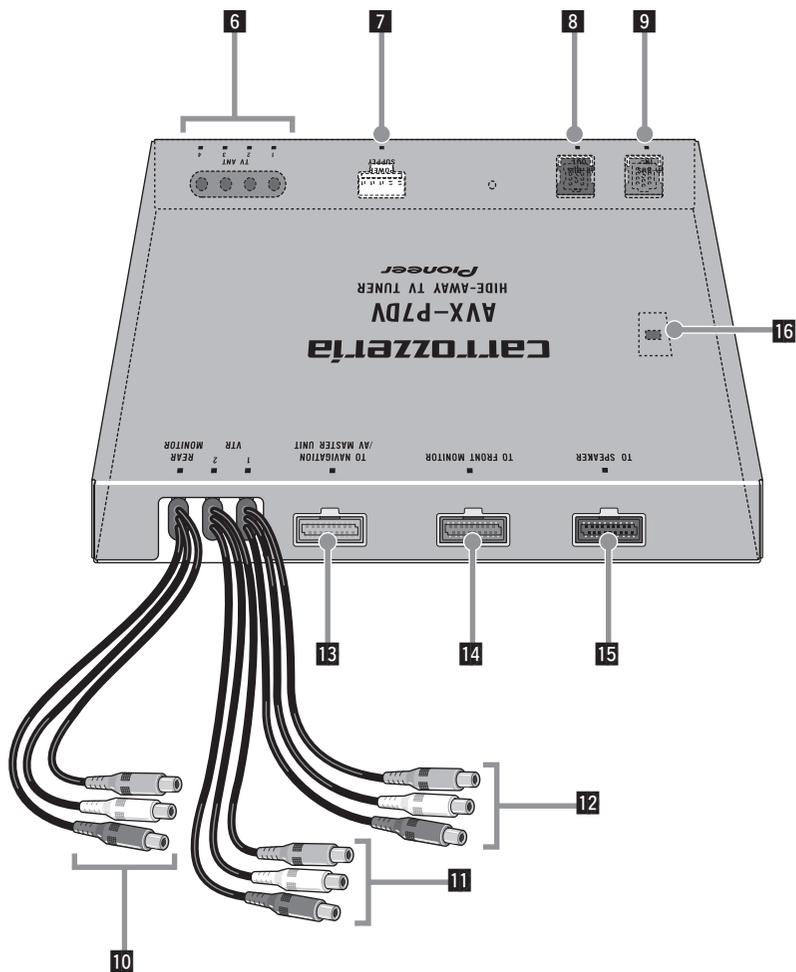
5 20ピンRGB入力 (白)

TVチューナーを接続します。

接続端子のなまえと働き

つづき

TVチューナー



6 TVアンテナ接続端子1~4

付属のダイバーシティTVアンテナを接続します。
1から順に接続してください。

端子1に接続したアンテナが優先されます。端子1には、必ずアンテナを接続してください。

7 電源

付属の電源コード (TVチューナー用) を接続します。

8 IP-BUS出力 (黒)

IP-BUS入力のある製品に接続します。

9 IP-BUS入力 (青)

IP-BUS出力のある製品を接続します。

10 RCAリアモニター映像出力 (黄)

RCAリアモニター音声出力 (白・赤)
リアモニター (後部座席専用モニター) 用の信号が出力されます。後部座席に設置するモニターの入力端子と接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

この端子に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

11 RCA映像入力 2 (黄)

RCA音声入力 2 (白・赤)
ポータブルビデオなどを接続することができます。

12 RCA映像入力 1 (黄)

RCA音声入力 1 (白・赤)
ポータブルビデオなどを接続することができます。

13 20ピンRGB入力 (黄)

パイオニア製の20ピンRGB出力付きAVマスターユニットやナビゲーションと組み合わせるときに使用します。

14 20ピンRGB出力 (青)

本体に接続します。

15 20ピンRGBスピーカー出力 (黒)

パイオニア製の20ピンRGB出力付きナビゲーションと組み合わせた場合、受光部付きスピーカーを接続するのに使用します。

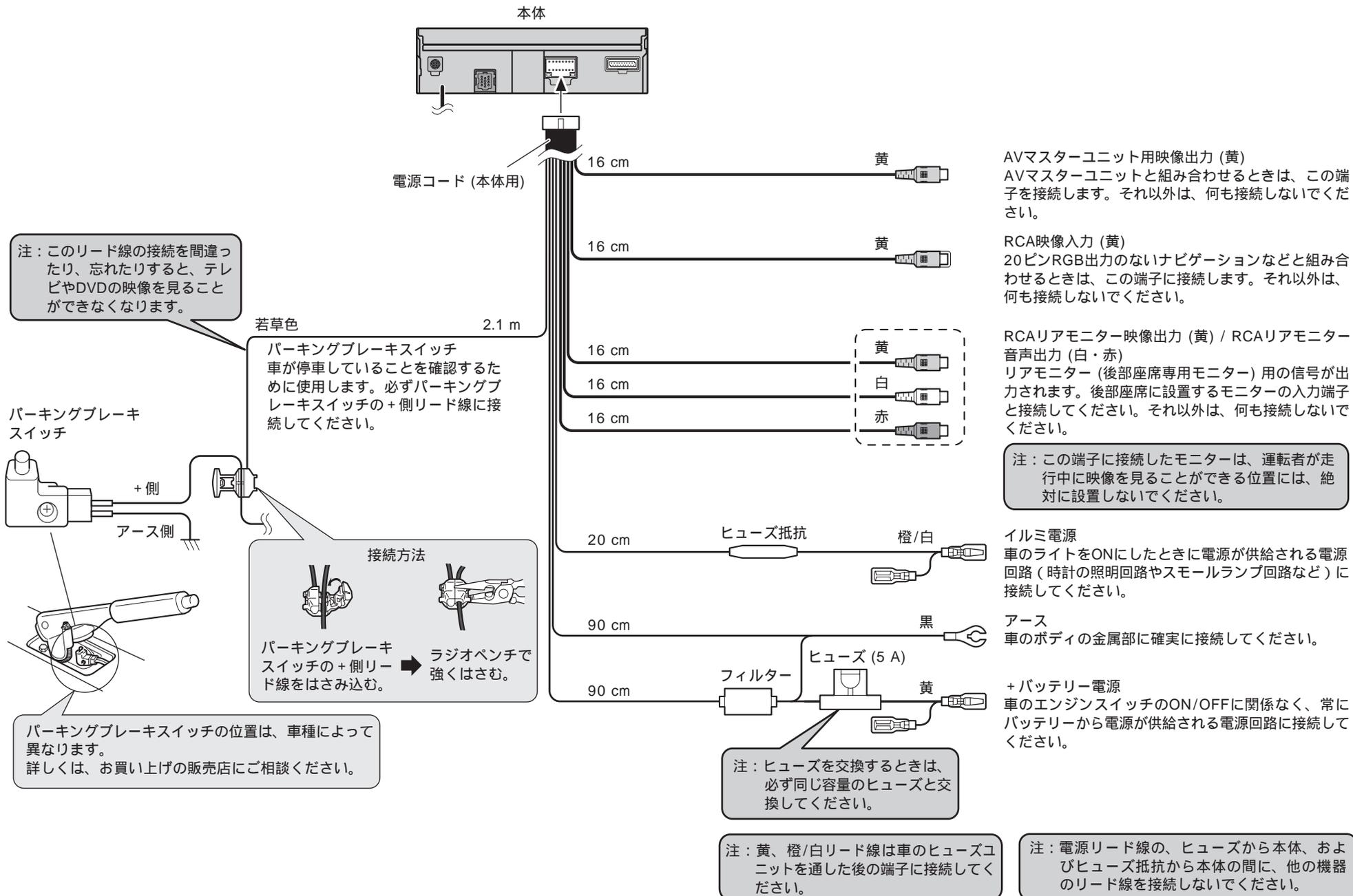
16 モードスイッチ

組み合わせたシステムに合わせて、ボールペンの先などでスイッチを切り換えてください。(参照 システムの接続1、2)

■ IP-BUS-MAIN UNIT
□ IP-BUS-AV MASTER

電源コードの接続 (本体)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



AVマスターユニット用映像出力 (黄)
 AVマスターユニットと組み合わせるときは、この端子を接続します。それ以外は、何も接続しないでください。

RCA映像入力 (黄)
 20ピンRGB出力のないナビゲーションなどと組み合わせるときは、この端子に接続します。それ以外は、何も接続しないでください。

RCAリアモニター映像出力 (黄) / RCAリアモニター音声出力 (白・赤)
 リアモニター (後部座席専用モニター) 用の信号が出力されます。後部座席に設置するモニターの入力端子と接続してください。それ以外は、何も接続しないでください。

注: この端子に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることが出来る位置には、絶対に設置しないでください。

イルミ電源
 車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路 (時計の照明回路やスモールランプ回路など) に接続してください。

アース
 車のボディの金属部に確実に接続してください。

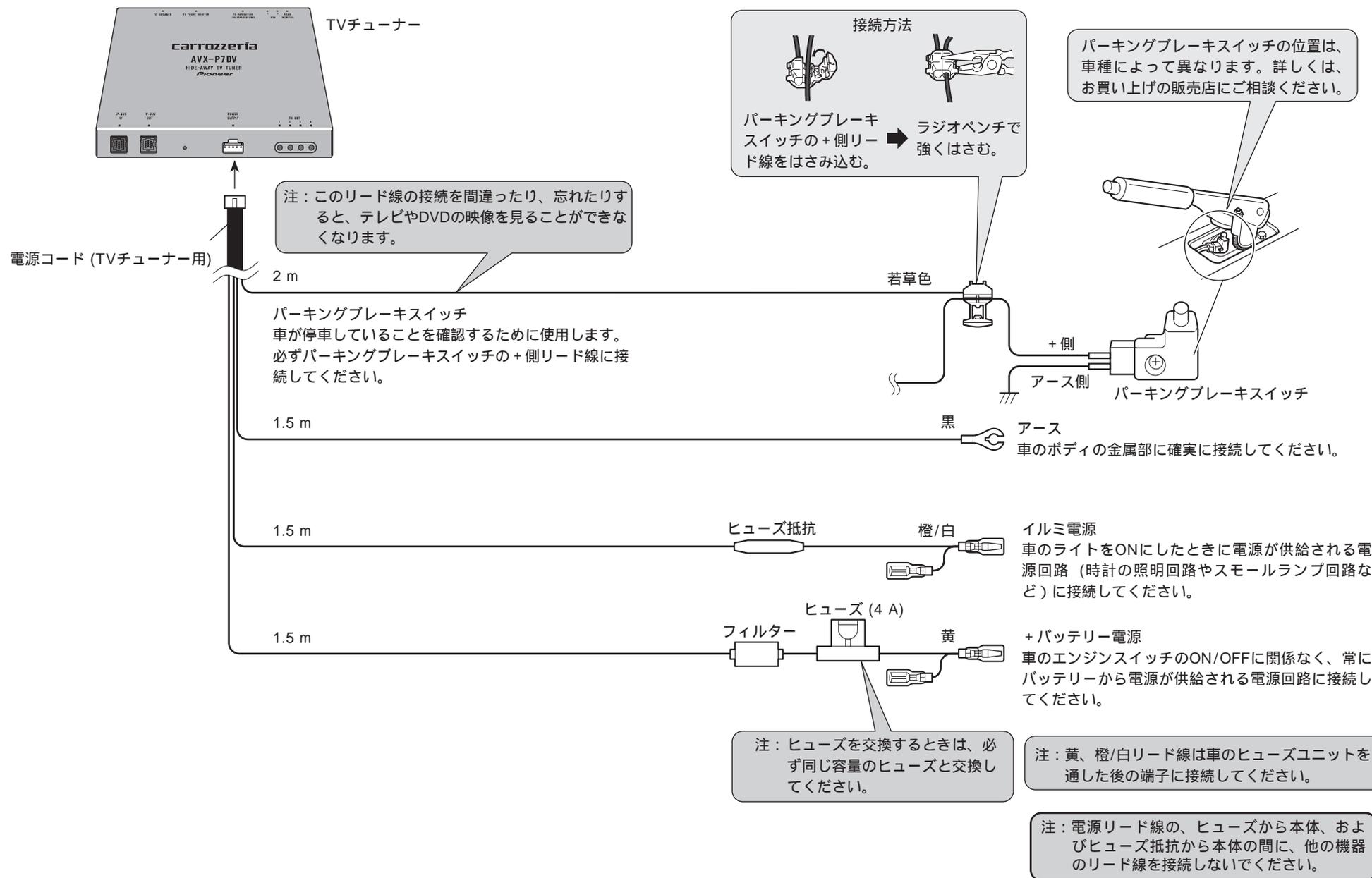
+ バッテリー電源
 車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注: 黄、橙/白リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

注: 電源リード線の、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

電源コードの接続 (TVチューナー)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

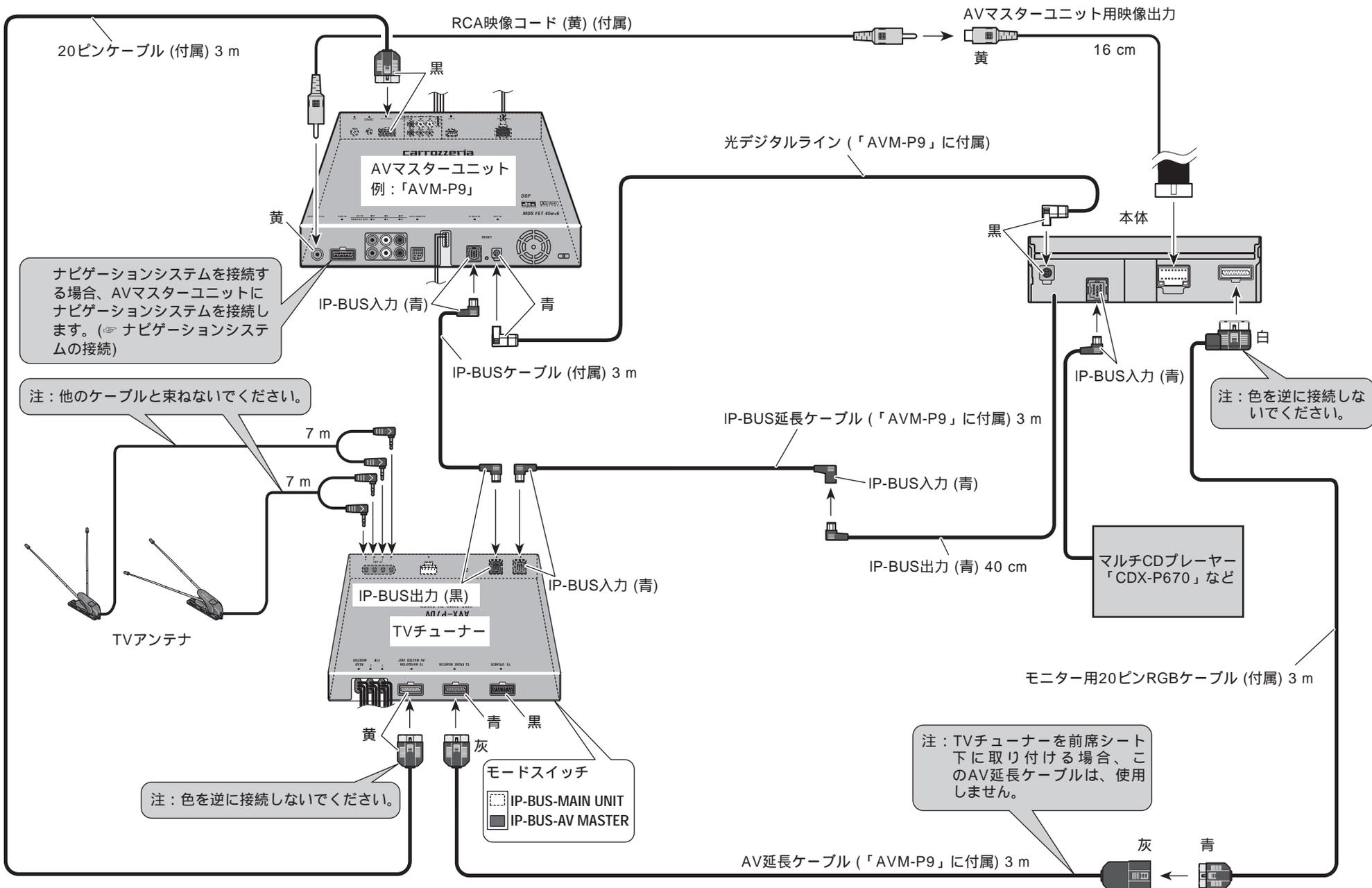


システムの接続 1

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

パイオニア製AVマスターユニットと組み合わせる場合

AV MASTER モード

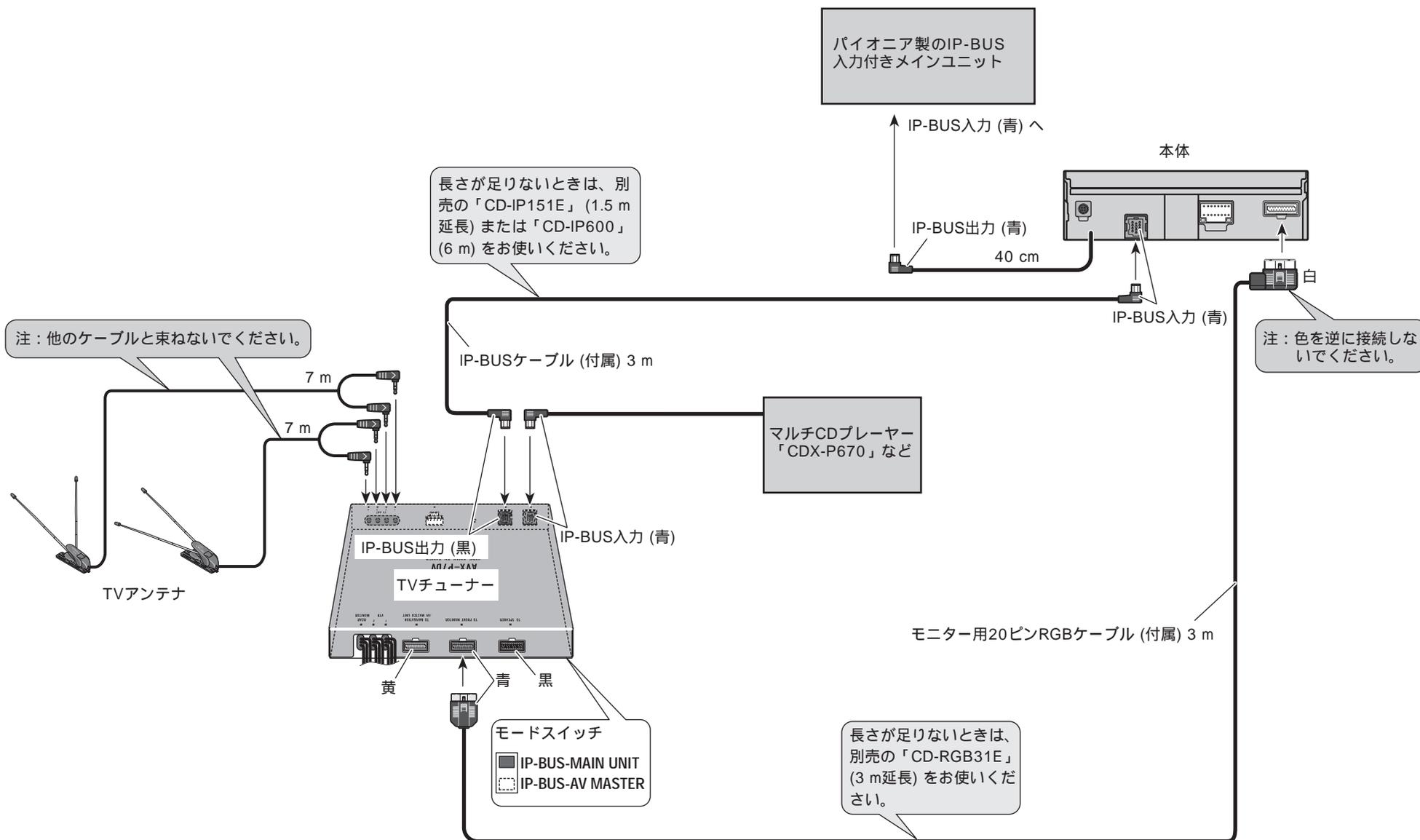


システムの接続 2

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

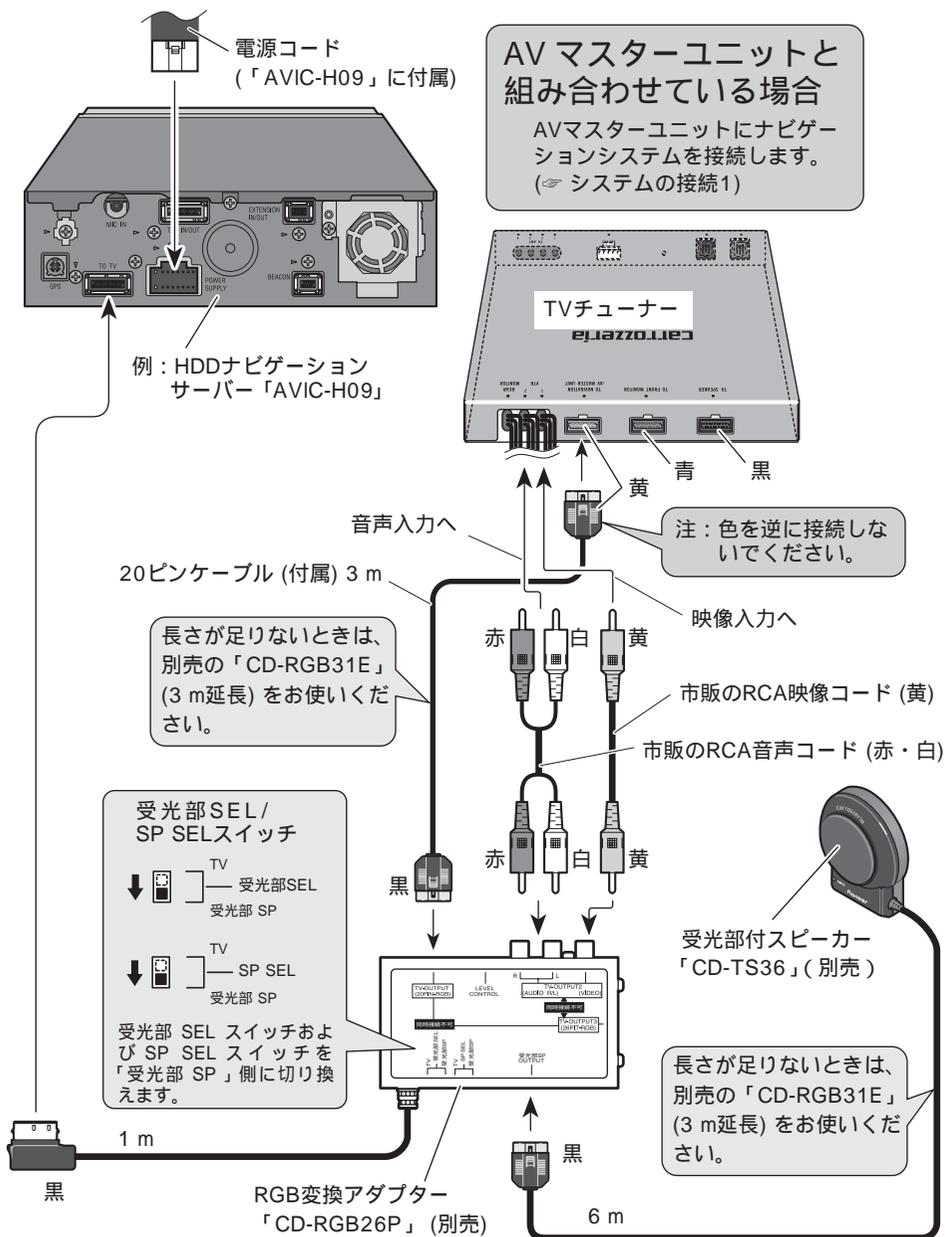
MAIN UNIT モード

パイオニア製IP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせる場合



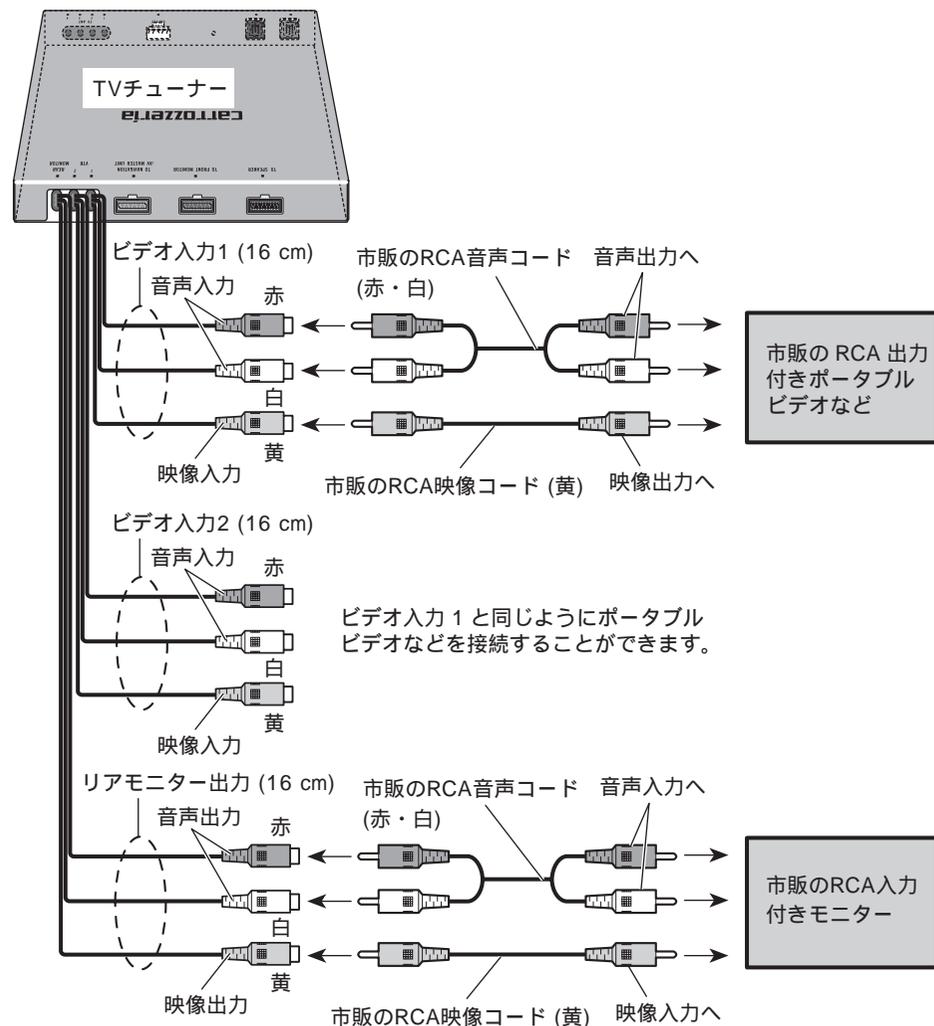
ナビゲーションシステムの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



RCA映像/音声入力・出力の接続

ポータブルビデオやパイオニア製の20ピンRGB出力のないナビゲーションを接続すると、その映像や音声を楽しむことができます。また、リアモニターでテレビやビデオなどの映像を楽しむこともできます。



メモ

接続するときは、本機および接続する製品の電源をOFFにしてから接続してください。

接続する製品の端子の形状に合わせて、各種変換コードをお使いください。

接続する製品の音声がモノラル出力の場合は、音声入力のL側 (白) とR側 (赤) に接続できるように、市販の変換ケーブルをご使用ください。

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

車種や年式によっては、別売のパイオニア取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意しておりますので、販売店にご相談ください。

両面テープを貼り付けるときは

両面テープを貼り付けるところは、湿気、ホコリ、汚れ、油などをよくふきとってください。また、両面テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

ノイズ防止のために

ノイズ防止の為、TVアンテナおよびアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

- * ラジオ/FM多重用アンテナおよびアンテナコード
- * RGBケーブル
- * IP-BUSケーブル
- * RCAコード
- * 電源コード
- * 車のコードおよび機器類
- * ナビゲーション本体
- * GPSアンテナ

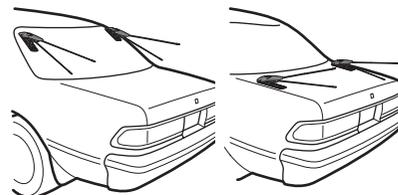
それぞれのコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

TVアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。TVアンテナは、TVアンテナの取り付け(次ページ)の説明に従って正しく取り付けてください。

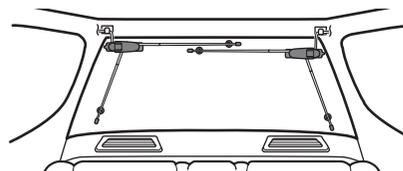
TVアンテナの取り付け

取り付け場所について

アンテナを車室外に取り付けるときは、リアガラスまたはトランクリッドに両面テープで貼り付けます。



アンテナを車室内に取り付けるときは、リアガラスに両面テープで貼り付けます。



ガラスアンテナや熱線の上には絶対に取り付けないでください。

アンテナのエレメントが車幅からはみ出ない場所、また、車の後端より後にはみ出ない場所に取り付けてください。なお、1ボックスカーや2ボックスカーの車室外のリアガラスには、絶対に貼り付けないでください。



取り付け上のご注意

アンテナは確実に貼り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。

ガラス面に取り付けるときは、必ず付属のクリーナー剤で、貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除き、乾いたあとにきれいな布でふき取ってください。湿気、油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

車のボディに取り付けるときは、塗装保護シートを必ず使用してください。使用しないと車のボディの塗装をはがす原因となることがあります。

確実に貼り付けるため、取り付けは天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

気温が低いときにガラス面に取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、両面テープの接着面と取り付け場所を、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして暖めておいてください(20℃以上)。

リアガラスアンテナ車の場合は、トランクリッドに取り付けてください。(リアガラスに取り付けた場合、本機の電源を入れたままカーステレオでラジオ放送を受信すると、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。)

両面テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

取り付け後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)に当たらないでください。また、高速走行など、アンテナに無理な力が加わるようなことはしないでください。

ナビゲーションと組み合わせる場合のご注意
ナビゲーションに付属の取付説明書もあわせてご覧ください。

TVアンテナの取り付け

つづき

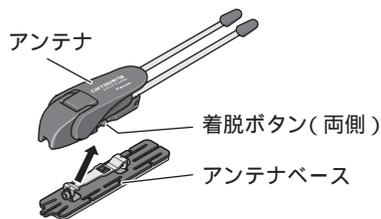
リアガラスへの取り付けかた

トランクを開けたときに、トランクがアンテナのエレメントに当たらない位置(できるだけ高い位置)に取り付けてください。

リアワイパーの可動範囲を確認し、リアワイパーの可動範囲内には絶対に取り付けてください。

1 アンテナを外す

着脱ボタンを押し、アンテナをアンテナベースから取り外します。(☞ 27ページ)



2 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースを裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、ガラス面との間にできるだけすき間のできない位置をさがします。



3 ガラスクリーナー剤で、汚れ、油などを取り除く

- 1 付属のガラスクリーナー剤を、付属のクロスに付け、少し力を入れて拭きます。
- 2 クリーナー剤が白く乾いたら、水で洗い流します。
- 3 きれいな乾いた布でから拭きし、水分を完全に取り除きます。

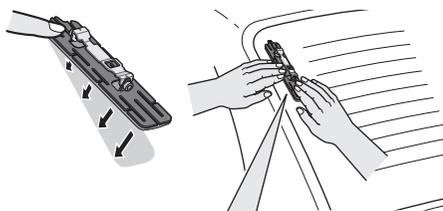


4 気温が低いときはリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして、リアガラスを20℃以上暖めます。

5 アンテナベースをリアガラスに貼り付ける

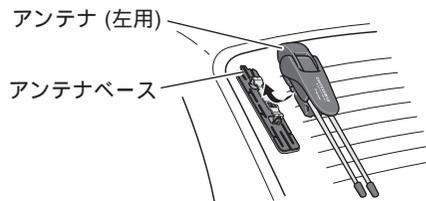
裏面の保護シートをはがし、先端から徐々に貼り付けます。



リアガラスに密着するように、指で強く押しつけてください。(貼り付けた後、空気が入っていないか車内から確認し、空気が入っていたらさらに強く押しつけてください。)

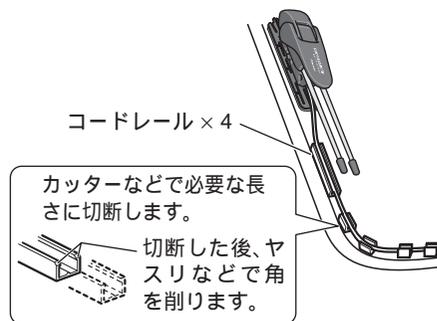
6 アンテナを取り付ける

(☞ 27ページ)



7 アンテナコードを固定する

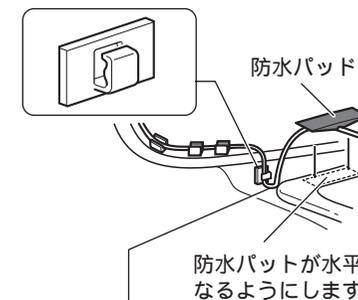
付属のコードレールをリアガラスに貼り付け、コードを固定します。



8 アンテナコードを車内に引き込む

付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。

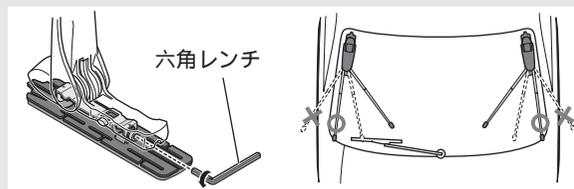
クランパー×6
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。



雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのばしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本の六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TVアンテナの取り付け

つづき

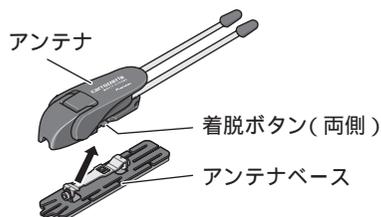
トランクリッドへの取り付けかた

TVアンテナが脱落する危険があるので、フッ素樹脂加工および再塗装された車のボディには貼れません。

トランクを開けたときに、アンテナの元素トがリアガラスなどに当たらない位置に取り付けてください。

1 アンテナを外す

アンテナをアンテナベースから取り外します。
(☞ 27ページ)



2 汚れ、油などを取り除く

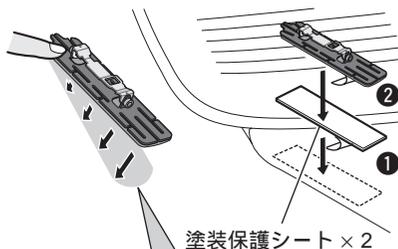
アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



付属のガラスクリーナー剤は、塗装をはがすことがありますので車のボディには使用しないでください。

3 アンテナベースをトランクリッドに貼り付ける

- 1 塗装保護シートをトランクリッドに貼り付けます。
- 2 塗装保護シートにアンテナベースを貼り付けます。

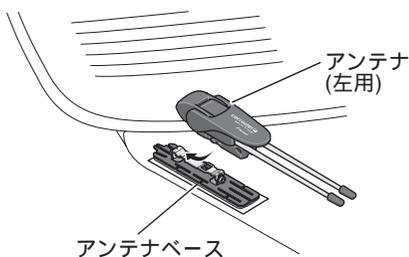


トランクリッドに密着するように、指で強く押しつけてください。

塗装保護シートを必ず使用してください。使用しないと車のボディの塗装をはがす原因となることがあります。

4 アンテナを取り付ける

(☞ 27ページ)

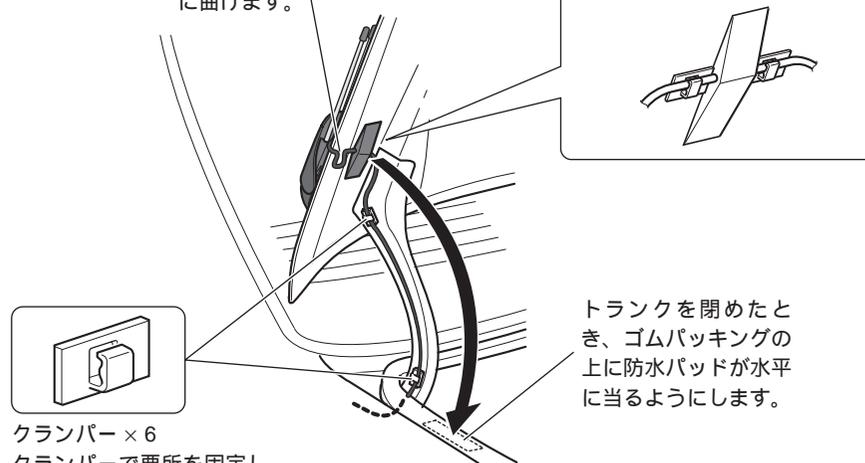


5 アンテナコードを車内に引き込む

付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。

雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

防水パッド
防水パッドの前後をクランパーで固定します。

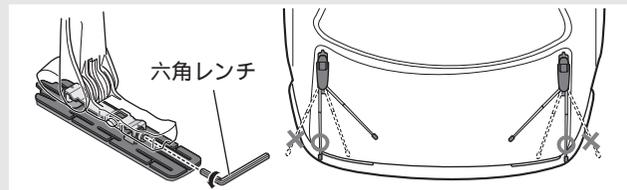


クランパー×6
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

トランクを開けたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナ元素トをのばしたときに、元素トが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本の六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TVアンテナの取り付け

つづき

車室内への取り付けかた

⚠️ 必ずお守りください

エレメントの先端は、必ず付属のホルダーで固定してください。外れた状態で使用になると、アンテナが脱落したり、エレメントの先端でケガをする場合があります。

設置後は、幼児のいたずらにご注意ください。思わぬケガの原因となる場合があります。

電波の強い地域(首都圏中心部)ではTVアンテナを車室内に取り付けられる場合があります。電波の弱い地域では車室外に取り付けてください。

車室内に取り付けた場合、車室外に取り付けた場合と比較してテレビの映りが悪くなります。テレビの映りが悪い場合はアンテナを車室外に取り付けてください。

TVアンテナの受信状態をできるだけ良くするために、下図のようにリア(リアハッチ)ガラスにTVアンテナを下向きに取り付けることをおすすめします。また、できるだけエレメントをのぼして取り付けてください。

断熱ガラスを使用した車および熱線遮断フィルムを使用した車では、その一部に電波を通しにくい種類のものがあり、受信できないことがあります。お車のガラス、フィルムの種類をお確かめください。

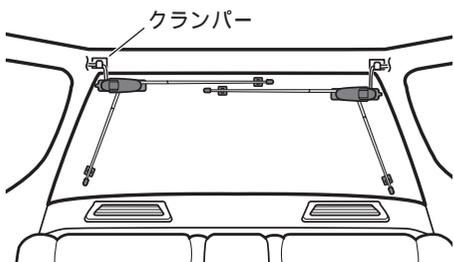
フロントガラスや運転の妨げになるガラスへ取り付けないでください。

車のガラスの大きさや角度により取り付けができない場合があります。アンテナを取り付ける前に確認してください。

取り付けの際は、ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20 mm以上あけてください。ガラスの端に近づけすぎると、テレビの映りが悪くなる場合があります。

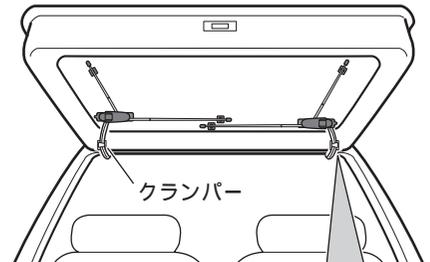
車のラジエーターファンのモーターや、ヒーターのモーターなどからノイズが飛び込み、映像が影響を受ける場合があります。

例1：リアガラスへの取り付け



アンテナをできるだけ高い位置に取り付けると、受信感が良くなります。

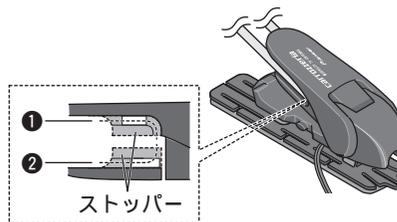
例2：リアハッチガラスへの取り付け



ハッチの開閉の際に、ケーブルが引っ張られたりじゃまにならないように、クランパーを使用して要所を固定してください。

1 ストッパーを切り取る

ニッパーなどで2ヶ所(①、②)切断し、ストッパーを切り取ります。



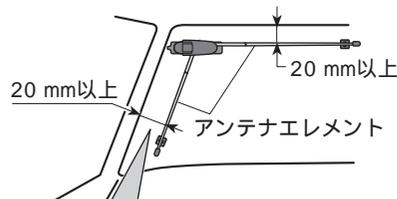
2 エレメント固定ホルダーをアンテナに取り付ける

各エレメントの先端部にエレメント固定ホルダーを取り付けます。



3 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースとエレメント固定ホルダー裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、取り付ける位置を決めます。



ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20 mm以上あけてください。ガラスの端に近づきすぎると、性能を十分に発揮できない場合があります。

4 ガラスクリーナー剤で、汚れ、油などを取り除く

- ① 付属のガラスクリーナー剤を、付属のクロスに付け、少し力を入れて拭きます。
- ② クリーナー剤が白く乾いたら、きれいなぬれた布でクリーナー剤を良くふき取ります。
- ③ きれいな乾いた布でから拭きし、水分を完全に取り除きます。

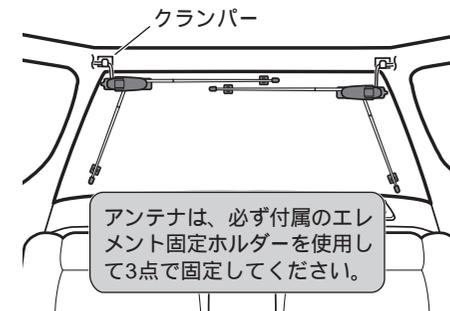


5 気温が低いときはリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして、リアガラスを20 以上に暖めます。

6 アンテナを取り付ける

アンテナベースとエレメント固定ホルダー裏面の保護シートをはがし、アンテナを固定します。次に付属のクランパーを使用して、アンテナケーブルを固定します。(前ページ)

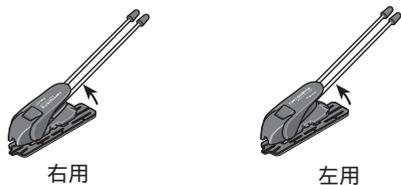


TVアンテナの取り付け

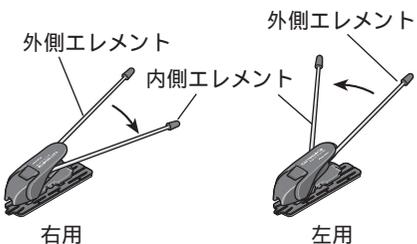
つづき

アンテナの使いかた

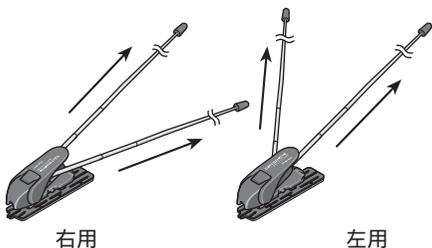
1 アンテナを起こす



2 内側エレメントを横にずらす

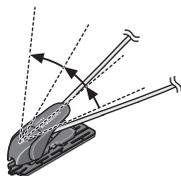


3 アンテナエレメントをいっぱいのにばす



4 アンテナ角度を調節する

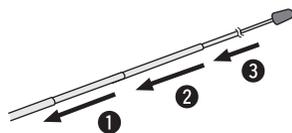
アンテナ本体の角度は、4段階に設定できません。受信感度の良い角度に調節してください。



水平よりやや上向きに調節してください。

アンテナエレメントを収納する際のご注意

エレメントの太い部分から順に収納してください。先端は細くなっていますので、ていねいに扱ってください。

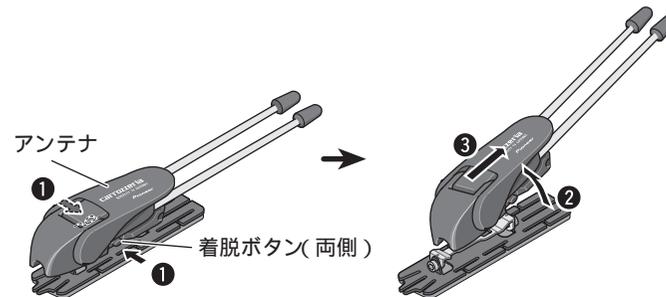


アンテナの着脱のしかた

自動洗車機で洗車するときや、長時間駐車する場合は、アンテナを取り外し、トランク内に収納してください。

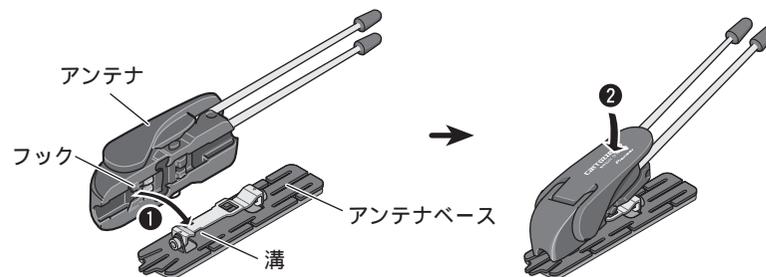
アンテナの外しかた

① 着脱ボタン(両側)を押しながら、② アンテナの後部を少し持ち上げ、③ 矢印の方向に引き抜きます。



アンテナの取り付けかた

① アンテナベースの前側の溝に、アンテナの前側のフックを挿入します。② アンテナの後部を矢印方向に押し、ロックさせます。(“カチッ”と音がすることを確認してください。)



アンテナの取り扱い上のご注意

アンテナおよびアンテナコードは、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品でふかないでください。表面が侵されることがあります。

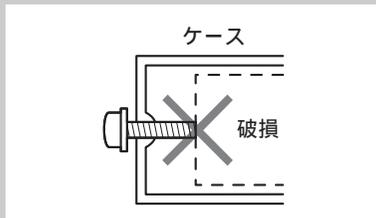
エレメントにゴミや汚れが付着し、スムーズに伸縮しなくなった場合は、ねり状ワックスなどでエレメントの金属部分をみがいてください。

アンテナのエレメントにアクセサリなどの飾りを付けしないでください。無理な力がかかると、エレメントが折れ曲がったり、アンテナが脱落する恐れがあります。

● 本体の取り付け

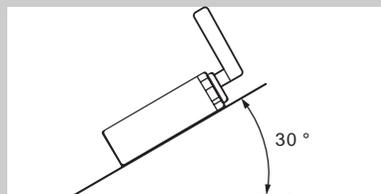
取り付け上のご注意

必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



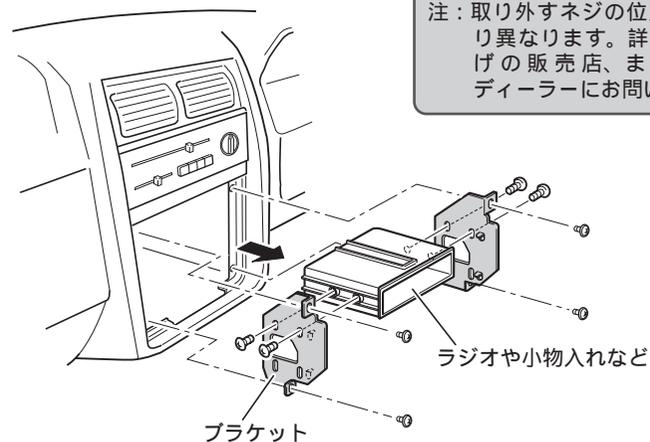
本機とカーステレオを重ねて取り付けるときは、本機を上にして取り付けてください。本機を下に取り付けると、モニターが立ち上がったときに、カーステレオの操作ボタンを隠してしまい、カーステレオの操作の妨げになります。

車種によっては、モニターが立ち上がったときに、車のエアコンなどの操作ボタンを押してしまうことがあります。このようなときは販売店にご相談ください。車種によっては、モニターがコンソールやダッシュボードに当たってしまい、モニターの角度を上向きに調節できない場合があります。エアバックなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないように取り付けてください。本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。



1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



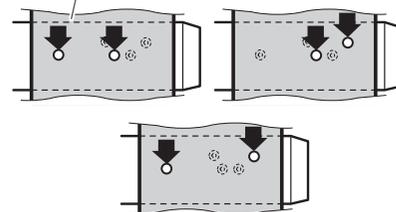
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

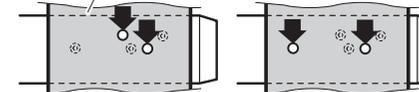
トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



日産車の場合。

日産車ブラケット

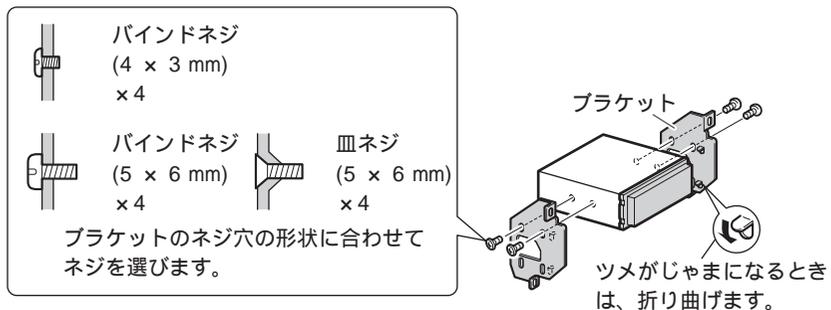


● 本体の取り付け

つづき

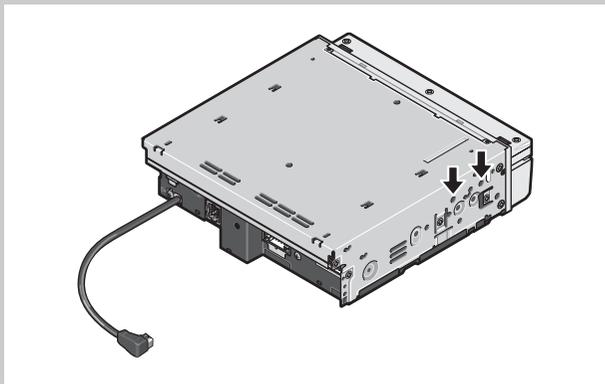
3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



ブラケット取り付け時のご注意

左側、右側、どちらも下記のネジ穴は付属のバインドネジ (4 × 3 mm) を使用してください。

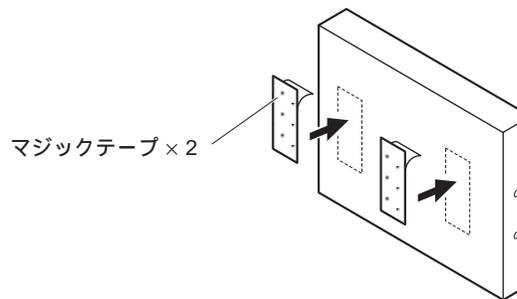


● TVチューナーの取り付け

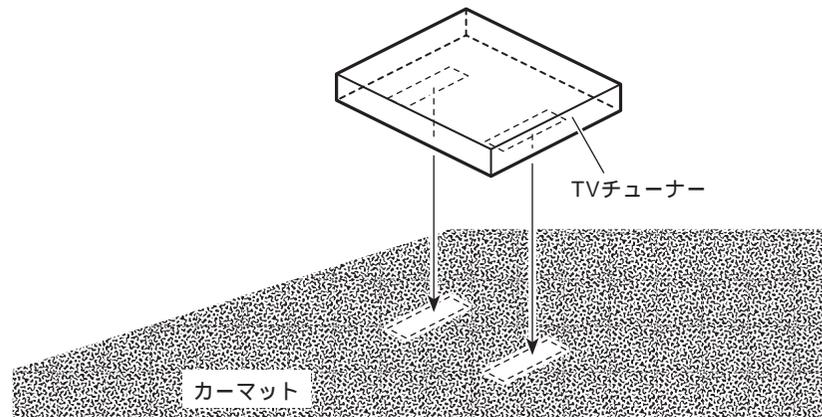
マジックテープでの取り付けかた

1 マジックテープをTVチューナーの底面に貼り付ける

マジックテープを貼り付ける前に、汚れをよくふきとってください。



2 カーマットに直接貼り付ける



取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けしないでください。

- * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかけやすい場所には取り付けしないでください。

フロントシート下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。

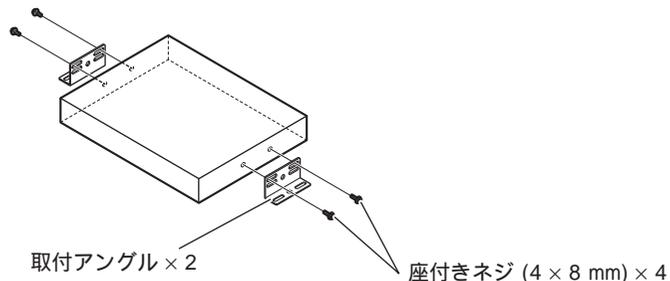
TVチューナーの取り付け

つづき

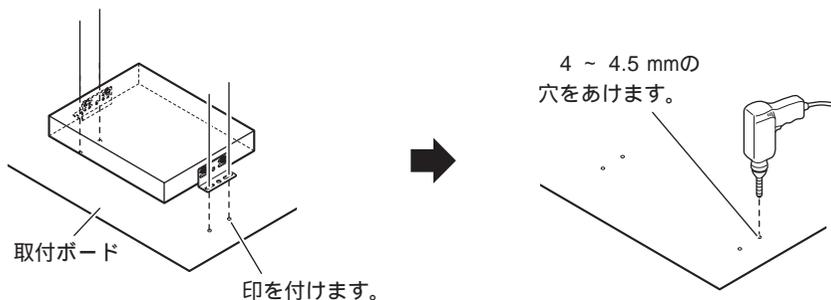
取付アングルでの取り付けかた

1 取付アングルをTVチューナーに取り付ける

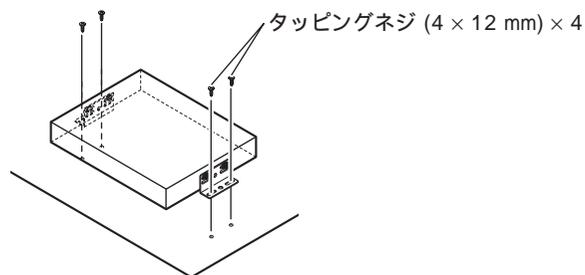
TVチューナーを車に取り付けるために、取付アングルをTVチューナーに取り付けます。



2 取り付ける位置を決め、穴を開ける



3 タッピングネジで、しっかり固定する。



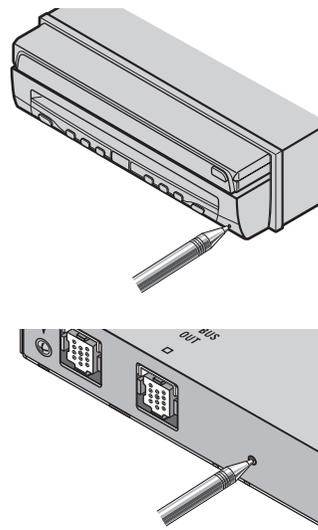
接続・取り付けが終わったら

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見えて確認してください。

2 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



3 車のエンジンをかける



4 本機の動作を確認する (☞ 取扱説明書)